



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 10 日

上場会社名 森永乳業株式会社

（コード番号：2264 東証、大証第一部）

（URL <http://www.morinagamilk.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 古川 紘一

問合せ先責任者 役職名 執行役員広報 IR部長 氏名 間瀬 俊博 TEL (03) 3798-0126

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

引当金等の計上にあたり、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

その他有価証券のうち時価のあるものの評価差額の処理は、従来、部分資本直入法によっておりましたが、市場価格等の変動による評価差額のうち売却等に基づく損益のみを損益計算書に計上することにより、投資の成果を期間損益により適正に反映するため、全部資本直入法に変更いたしました。

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

前連結会計年度まで持分法適用非連結子会社であった富士乳業(株)は、相対的に重要性が増大したため、当連結会計年度より連結子会社に移行しました。

なお、連結子会社の(株)デリーフーズは、平成 17 年 4 月 1 日をもって、下記の連結子会社 9 社を吸収合併いたしました。

(株)北海道デリーフーズ (株)東北デリーフーズ (株)新潟デリーフーズ  
 (株)東海デリーフーズ (株)北陸デリーフーズ (株)西日本デリーフーズ  
 (株)中国デリーフーズ (株)四国デリーフーズ (株)九州デリーフーズ

また、連結子会社のエスキモージャパン(株)は、平成 17 年 7 月 1 日をもって当社と合併いたしました。

2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	430,115	△3.3	9,504	△32.5	10,862	△27.7	4,607	△36.0
17 年 3 月期第 3 四半期	444,590	1.5	14,072	—	15,032	—	7,195	—
(参考)17 年 3 月期	564,666		13,853		15,668		7,180	

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	18.20	—
17 年 3 月期第 3 四半期	28.39	—
(参考)17 年 3 月期	28.19	—

(注)① 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

② 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰などの不安定な要因はあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加など景気回復の兆しがみられました。また、雇用情勢が改善されるとともに、個人消費も緩やかな回復基調に向かっております。

しかしながら、食品業界におきましては、引き続きデフレ傾向が継続しており、消費の回復は鈍く、販売競争も激しさを増し、厳しい経営環境でありました。

このような状況の中で、当社グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努め、効率的な販売促進活動を展開するとともに、ローコストオペレーションの徹底や不採算商品の削減などにより

収益力の強化をはかってまいりました。

しかしながら、品種削減を進めたことと一部商品の売上が伸び悩んだことから、売上高は前年同期を下回りました。また、利益面におきましても、売上減少および原材料価格の上昇等により、営業利益、経常利益および四半期純利益で前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は前年同期比3.3%減の4,301億1千5百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は95億4百万円、経常利益は108億6千2百万円、四半期純利益は46億7百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	342,622	99,947	29.1	394.75
17年3月期第3四半期	332,634	95,532	28.7	377.05
(参考)17年3月期	312,554	95,437	30.5	376.65

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	11,758	△18,890	11,256	12,458
17年3月期第3四半期	17,059	△14,896	△685	11,376
(参考)17年3月期	19,650	△15,104	△7,795	6,625

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①貸借対照表の状況

当第3四半期末の資産の部は、出資金が償還に伴い減少いたしましたが、連結子会社の増加による有形固定資産の増加および神戸工場建設用地の借地権取得による無形固定資産の増加などにより、前年同期末に比べ99億8千7百万円増の3,426億2千2百万円となりました。負債の部は、社債の発行による増加もあり、55億9千3百万円増の2,403億6千1百万円となり、また、資本の部は、利益剰余金の増加などにより、44億1千5百万円増の999億4千7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の減少などにより前年同期に比べ53億円減の117億5千8百万円となりました。また、設備投資を主とする投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の増加などにより前年同期に比べ39億9千4百万円減の△188億9千万円となり、これらを合計したフリーキャッシュ・フローは前年同期に比べ92億9千5百万円減の△71億3千2百万円となりました。このため、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ119億4千2百万円増の112億5千6百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前年同期末に比べ10億8千1百万円増の124億5千8百万円となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

第3四半期の業績推移を勘案し、平成17年11月18日に公表した平成18年3月期の連結業績予想数値を修正し下記のとおりといたします。

(百万円未満切り捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	549,000	12,300	5,300
今回修正予想 (B)	548,000	11,000	4,600
増減額 (B-A)	△1,000	△1,300	△700
増減率 (%)	△0.2%	△10.6%	△13.2%

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

4. 参考：森永乳業単体の進捗状況について（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（単体）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	332,457	△3.7	5,228	△38.5	6,857	△29.4	3,194	△23.9
17年3月期第3四半期	345,055	△2.8	8,506	—	9,719	—	4,197	—
（参考）17年3月期	440,187		8,722		10,674		4,115	

	1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭
18年3月期第3四半期	12.61
17年3月期第3四半期	16.56
（参考）17年3月期	16.15

（注） 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

〔経営成績（単体）の進捗状況に関する定性的情報等〕

①概況

当第3四半期の売上高は、前年同期を下回っており、利益面におきましても、売上減少の影響および原材料価格の上昇等により、営業利益、経常利益および四半期純利益とも前年同期を下回る結果となりました。

②売上の状況

市乳

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」が販売戦略の見直し効果等により売上は前年同期を上回りましたが、不採算商品の品種削減の影響もあり、牛乳類全体では前年同期の売上を下回りました。

乳飲料は、カップ飲料の「カフェラッテ」などのマウントレーニアシリーズや「リプトンミルクティー」が堅調に推移し、前年同期を上回る売上となりました。

ヨーグルトは、主力商品の「アロエヨーグルト」などのフルーツヨーグルトやプレーンヨーグルトが売上に貢献し、前年同期を上回る売上となりました。

プリンは、「プティポとろふわプリン」などの新製品が売上に貢献しましたが、前期に大きく伸びた「でかでかプリン」などのたっぷりシリーズの不振もあり、前年同期の売上を下回りました。

これらにより、市乳の売上高は前年同期比6.2%減の1,501億円となりました。

乳製品

粉乳では、出生数減少により調製粉乳の国内市場が縮小するなかで、「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」は売上を拡大し、フォローアップミルク「森永フォローアップミルクチルミルク」はほぼ横ばいでしたが、乳児用ミルク「森永ドライミルクはぐくみ」が前年同期を下回ったため、調製粉乳全体では前年同期を下回る売上となりました。また、家庭用のスキムミルクはダイエットブームの影響で売上を大きく伸ばしましたが、「クリープ」や業務用の脱脂粉乳の売上が前年同期を下回った結果、粉乳全体では前年同期を下回りました。

チーズは、クラフトブランドの「スライスチーズ」や「パルメザンチーズ」が好調に推移し、家庭用チーズの売上は前年同期を上回りましたが、業務用チーズの売上が前年同期を下回ったことから、チーズ全体の売上も前年同期を下回りました。

これらにより、乳製品の売上高は前年同期比2.3%減の682億7千9百万円となりました。

アイスクリーム

「ピノ」がシリーズの品揃え強化により売上を拡大し、また新商品「PARM（パルム）」なども売上拡大に寄与しましたが、前年の猛暑の反動により「みぞれ」等が前年同期を下回る売上となったことから、アイスクリームの売上高は前年同期比0.9%減の335億7千9百万円となりました。

その他

飲料は、リプトンティーは引き続き堅調に推移しましたが、サンキストジュースやその他の飲料の売上が前年同期を下回ったことから、全体では前年同期を下回る売上となりました。

また、フルーツゼリー、流動食は前年同期を上回る売上となりました。

これらにより、その他の売上高は前年同期比0.8%減の804億9千7百万円となりました。

## (2) 財政状態（単体）の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	275,599	74,835	27.2	295.57
17年3月期第3四半期	268,112	72,019	26.9	284.25
(参考)17年3月期	255,949	71,871	28.1	283.66

## (3) 平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

第3四半期の業績推移を勘案し、平成17年11月18日に公表した平成18年3月期の業績予想数値を修正し下記のとおりといたします。

(百万円未満切り捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	428,000	8,500	3,500
今回修正予想（B）	427,000	7,500	2,900
増減額（B－A）	△1,000	△1,000	△600
増減率（%）	△0.2%	△11.8%	△17.1%

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

## ○ 添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書、  
四半期連結剰余金計算書、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以上

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当第3四半期 平成17.12.31		前年第3四半期 平成16.12.31		増 減		(参考) 前期 平成17.3.31	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
( 資 産 の 部 )								
<b>I 流動資産</b>								
現金及び預金	12,867		11,781		1,085	9.2	7,020	
受取手形及び売掛金	71,827		73,627		△ 1,799	△ 2.4	61,571	
たな卸資産	30,141		30,632		△ 490	△ 1.6	32,977	
その他の	11,990		10,863		1,126	10.4	9,419	
貸倒引当金	△ 1,458		△ 1,229		△ 228	18.6	△ 1,268	
流動資産合計	125,367	36.6	125,674	37.8	△ 306	△ 0.2	109,720	35.1
<b>II 固定資産</b>								
1. 有形固定資産								
建物及び構築物	48,704		47,149		1,554	3.3	47,212	
機械装置及び運搬具	45,500		43,458		2,041	4.7	44,046	
土地	52,710		53,338		△ 627	△ 1.2	52,681	
その他の	16,873		12,035		4,838	40.2	12,038	
有形固定資産合計	163,788		155,981		7,806	5.0	155,979	
2. 無形固定資産	3,527		963		2,563	265.9	3,456	
3. 投資その他の資産								
投資有価証券	23,886		18,495		5,391	29.1	18,474	
出資金	13,889		18,502		△ 4,612	△ 24.9	12,459	
その他の	13,167		13,873		△ 706	△ 5.1	13,689	
貸倒引当金	△ 1,004		△ 857		△ 146	17.1	△ 1,225	
投資その他の資産合計	49,938		50,014		△ 75	△ 0.2	43,397	
固定資産合計	217,254	63.4	206,959	62.2	10,294	5.0	202,834	64.9
資産合計	342,622	100	332,634	100	9,987	3.0	312,554	100
( 負 債 の 部 )								
<b>I 流動負債</b>								
支払手形及び買掛金	66,526		66,995		△ 468	△ 0.7	58,079	
短期借入金	13,480		10,432		3,047	29.2	9,928	
コマーシャル・ペーパー	14,000		16,000		△ 2,000	△ 12.5	11,000	
一年以内償還予定社債	10,000		15,000		△ 5,000	△ 33.3	15,000	
未払費用	25,375		26,948		△ 1,572	△ 5.8	27,067	
その他の	23,726		21,357		2,369	11.1	18,712	
流動負債合計	153,109	44.7	156,734	47.1	△ 3,624	△ 2.3	139,788	44.8
<b>II 固定負債</b>								
社債	45,000		35,000		10,000	28.6	35,000	
長期借入金	20,016		19,782		233	1.2	18,157	
退職給付引当金	13,267		14,228		△ 960	△ 6.8	13,347	
その他の	8,967		9,022		△ 55	△ 0.6	8,615	
固定負債合計	87,251	25.5	78,033	23.5	9,217	11.8	75,121	24.0
負債合計	240,361	70.2	234,767	70.6	5,593	2.4	214,909	68.8
( 少 数 株 主 持 分 )								
少数株主持分	2,313	0.7	2,334	0.7	△ 21	△ 0.9	2,207	0.7
( 資 本 の 部 )								
<b>I 資本金</b>	21,704	6.3	21,704	6.5	—	—	21,704	6.9
<b>II 資本剰余金</b>	19,451	5.7	19,445	5.9	5	0.0	19,449	6.3
<b>III 利益剰余金</b>	53,250	15.5	50,215	15.1	3,035	6.0	50,201	16.1
<b>IV その他有価証券評価差額金</b>	5,704	1.7	4,244	1.3	1,459	34.4	4,218	1.3
<b>V 為替換算調整勘定</b>	134	0.0	137	0.0	△ 2	△ 1.7	118	0.0
<b>VI 自己株式</b>	△ 298	△ 0.1	△ 215	△ 0.1	△ 82	38.1	△ 254	△ 0.1
資本合計	99,947	29.1	95,532	28.7	4,415	4.6	95,437	30.5
負債、少数株主持分及び資本合計	342,622	100	332,634	100	9,987	3.0	312,554	100

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当第3四半期 自平成17. 4. 1 至平成17. 12. 31		前年第3四半期 自平成16. 4. 1 至平成16. 12. 31		増 減		(参考) 前期 自平成16. 4. 1 至平成17. 3. 31	
	金 額	売上比	金 額	売上比	金 額	増減率	金 額	売上比
I 売 上 高	430,115	100	444,590	100	△ 14,474	△ 3.3	564,666	100
II 売 上 原 価	301,855	70.2	308,202	69.3	△ 6,347	△ 2.1	392,376	69.5
売上総利益	128,260	29.8	136,387	30.7	△ 8,127	△ 6.0	172,290	30.5
III 販売費及び一般管理費	118,755	27.6	122,315	27.5	△ 3,559	△ 2.9	158,437	28.1
営業利益	9,504	2.2	14,072	3.2	△ 4,567	△ 32.5	13,853	2.5
IV 営業外収益	2,590	0.6	2,247	0.5	343	15.3	3,517	0.6
受取利息及び配当金	1,184	0.3	1,147	0.3	36	3.2	1,836	0.3
その他の営業外収益	1,405	0.3	1,099	0.2	306	27.9	1,681	0.3
V 営業外費用	1,232	0.3	1,287	0.3	△ 54	△ 4.2	1,702	0.3
支払利息	964	0.2	1,049	0.2	△ 84	△ 8.1	1,395	0.2
その他の営業外費用	267	0.1	237	0.1	29	12.6	307	0.1
経常利益	10,862	2.5	15,032	3.4	△ 4,169	△ 27.7	15,668	2.8
VI 特別利益	2,886	0.7	442	0.1	2,444	552.5	1,536	0.3
固定資産売却益	503	0.1	144	0.0	359	249.5	960	0.2
投資有価証券売却益	2,366	0.6	46	0.0	2,319	-	54	0.0
退職給付会計基準変更時差異	-	-	89	0.0	△ 89	-	118	0.0
その他の特別利益	16	0.0	162	0.0	△ 145	△ 89.7	401	0.1
VII 特別損失	4,570	1.1	2,315	0.5	2,255	97.4	4,212	0.7
固定資産処分損	462	0.1	582	0.1	△ 120	△ 20.7	1,093	0.2
(財)ひかり協会負担金	1,294	0.3	1,254	0.3	40	3.2	1,575	0.3
減損損失	689	0.2	-	-	689	-	-	-
たな卸資産評価損等	1,856	0.4	-	-	1,856	-	-	-
その他の特別損失	268	0.1	478	0.1	△ 210	△ 43.9	1,543	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,178	2.1	13,159	3.0	△ 3,980	△ 30.3	12,991	2.3
法人税、住民税及び事業税	4,489	1.0	5,882	1.3	△ 1,393	△ 23.7	5,495	1.0
法人税等調整額	-	-	-	-	-	-	292	0.1
少数株主利益	81	0.0	81	0.0	△ 0	△ 0.1	23	0.0
四半期(当期)純利益	4,607	1.1	7,195	1.6	△ 2,587	△ 36.0	7,180	1.3

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前年第3四半期	増 減 額	(参考) 前期
	自平成17. 4. 1 至平成17. 12. 31	自平成16. 4. 1 至平成16. 12. 31		自平成16. 4. 1 至平成17. 3. 31
	金 額	金 額		金 額
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高	19,449	19,443	6	19,443
II 資本剰余金増加高	2	2	△0	6
自己株式処分差益	2	2	△0	6
III 資本剰余金四半期末(期末)残高	19,451	19,445	5	19,449
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高	50,201	44,689	5,511	44,689
II 利益剰余金増加高	4,607	7,195	△2,587	7,180
四半期(当期)純利益	4,607	7,195	△2,587	7,180
III 利益剰余金減少高	1,558	1,668	△110	1,668
1. 配当金	1,519	1,521	△1	1,521
2. 役員賞与	38	39	△0	39
3. 連結子会社決算期変更による 減少	—	84	△84	84
4. 連結子会社除外による減少	—	24	△24	24
IV 利益剰余金四半期末(期末)残高	53,250	50,215	3,035	50,201

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前年第3四半期	増 減 額	(参考) 前期
	自平成17. 4. 1 至平成17. 12. 31	自平成16. 4. 1 至平成16. 12. 31		自平成16. 4. 1 至平成17. 3. 31
	金 額	金 額		金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期（当期）純利益	9,178	13,159	△ 3,980	12,991
減価償却費	12,262	12,538	△ 276	16,427
減損損失	689	—	689	—
退職給付引当金の増減額（減少：△）	△ 587	△ 163	△ 423	△ 1,044
貸倒引当金の増減額（減少：△）	△ 31	354	△ 385	761
投資有価証券等評価損益（益：△）	61	224	△ 163	357
受取利息及び受取配当金	△ 1,184	△ 1,147	△ 36	△ 1,836
支払利息	964	1,049	△ 84	1,395
固定資産売却益	△ 503	△ 144	△ 359	△ 960
固定資産処分損	462	582	△ 120	1,093
売上債権の増減額（増加：△）	△ 10,201	△ 9,925	△ 275	2,123
たな卸資産の増減額（増加：△）	2,917	△ 1,338	4,256	△ 3,700
仕入債務・未払費用の増減額（減少：△）	6,654	6,019	634	△ 2,734
その他	△ 3,571	△ 1,051	△ 2,519	△ 2,129
小 計	17,112	20,157	△ 3,044	22,743
利息及び配当金の受取額	1,183	1,127	56	1,832
利息の支払額	△ 989	△ 1,091	102	△ 1,404
法人税等の支払額	△ 5,548	△ 3,134	△ 2,414	△ 3,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,758	17,059	△ 5,300	19,650
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
固定資産の取得による支出	△ 17,052	△ 14,540	△ 2,511	△ 21,718
固定資産の売却による収入	697	626	71	2,143
投資有価証券の取得による支出	△ 3,521	△ 480	△ 3,040	△ 2,688
投資有価証券の売却による収入	3,144	107	3,036	2,154
出資金の取得による支出	△ 1,429	△ 806	△ 623	△ 1,414
出資金の償還等による収入	0	2	△ 1	6,653
その他	△ 730	194	△ 925	△ 234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,890	△ 14,896	△ 3,994	△ 15,104
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金増減額（減少：△）	2,547	△ 568	3,115	△ 2,501
コマーシャル・ペーパー増減額（減少：△）	3,000	3,000	—	△ 2,000
長期借入れによる収入	5,200	1,581	3,618	3,244
長期借入金の返済による支出	△ 2,919	△ 3,108	188	△ 4,913
社債の発行による収入	20,000	—	20,000	—
社債の償還による支出	△ 15,000	—	△ 15,000	—
自己株式増減額（増加：△）	△ 41	△ 59	17	△ 94
配当金の支払額	△ 1,519	△ 1,521	1	△ 1,521
少数株主への配当金の支払額	△ 10	△ 10	0	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,256	△ 685	11,942	△ 7,795
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	23	13	10	△ 11
<b>V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）</b>	4,147	1,490	2,657	△ 3,260
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	6,625	9,914	△ 3,289	9,914
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の期首残高増加額	1,685	—	1,685	—
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の期首残高減少額	—	△ 28	28	△ 28
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高</b>	12,458	11,376	1,081	6,625